

指定管理者制度導入施設の運営状況（平成27年度）

1. 施設名等

施設名	大分県社会福祉介護研修センター	所在地	〒870-0161 大分市明野東3丁目4番1号
		電話番号	097-552-6888
		ホームページ	http://www.okk.or.jp

2. 指定管理者および県の所管部課（窓口）

指定管理者	名称 所在地 指定期間	社会福祉法人 大分県社会福祉協議会 大分市大津町2丁目1番4号 平成23年4月1日～28年3月31日	県の所管部課 (局・室)	福祉保健部地域福祉推進室 TEL：097-506-2620
-------	-------------------	--	-----------------	----------------------------------

3. 施設の概要

設置年月日	平成5年11月12日
設置根拠	大分県社会福祉介護研修センターの設置及び管理に関する条例
設置目的	社会福祉事業に従事する者に対する研修、介護に関する研修、福祉用具の展示等を行うことにより、社会福祉事業従事者の資質の向上と県民の介護に対する理解と参加の促進を図り、もって県民の福祉の増進に資する。
事業内容	①社会福祉事業従事者を対象とする研修 ②介護に関する研修 ③高齢者及び介護者の総合相談 ④福祉人材に係る無料職業紹介 ⑤福祉機器等の展示及び情報提供 ⑥①～⑤のほか、社会福祉介護研修センターの目的を達するために必要な事業
施設内容	大ホール[200人室]、小ホール[100人室]、研修室、図書情報室、調理実習室、和室実習室、トイレ実習室、ベット実習室、入浴実習室、相談室、休憩室・食堂、福祉用具展示場、高齢者総合相談センター、福祉人材センター（福祉人材無料職業紹介所）、住宅改造モデル展示場、災害物資備蓄倉庫
使用料等	[該当なし]
閉館日	①月曜日、②国民の祝日（その日が土曜日又は日曜日にあたることを除く。） ③12月29日から翌年の1月3日までの日

4. 目標指標の達成状況

指標	年度	目標数値	実績	達成率(%)
利用者満足度 評価レベル4 (5段階評価)	平成24年度	4.00	4.51	112.8%
	平成25年度	4.00	4.53	113.3%
	平成26年度	4.00	4.54	113.5%
	平成27年度	4.00	4.57	114.3%

5. 施設の利用状況

利用者数(人)	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
	平成24年度	1,830	2,918	3,949	4,317	4,150	3,519	
	平成25年度	2,926	3,057	3,999	3,831	3,893	3,210	
	平成26年度	2,576	3,137	4,841	4,758	5,201	5,312	
	平成27年度	3,141	3,418	5,046	5,063	4,882	3,825	
	年度	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
	平成24年度	3,834	3,471	2,745	1,907	3,719	1,964	38,323
	平成25年度	3,820	5,837	3,527	2,418	3,067	2,807	42,392
	平成26年度	6,141	5,957	2,304	3,239	3,761	2,064	49,291
	平成27年度	6,267	6,079	3,803	2,946	3,634	2,824	50,928

6. 利用者満足度調査等の実施状況

利用者満足度調査	実施方法	全研修会においてアンケートを実施 アンケート内容: 内容等にかかる5段階評価及び施設・職員対応等に対する意見記入 対象研修数: 64、対象者数: 21, 061名、回答者数: 19, 708名、回収率: 93. 6%
	実施結果	研修会等のアンケートの評価レベルについては、4. 57と高評価であった。 ・最高: 4. 92、最低: 4. 30、平均4. 57 ・アンケート調査を分析し、受講者の要望等を次年度以降の研修の企画等に反映させてきた結果、テーマ設定、講師選定ともに受講者の評価が向上し、評価レベルの平均値が毎年アップしている。 ・意見についても、施設の整備・維持、職員の対応、研修内容、講師選定について良好な評価を得ている。
利用者等からの主な意見・要望・苦情		左の対応状況
・洋式便座が冷たかったので、温かい便座がほしい。ウォシュレットがほしい。		・多額の費用がかかるため、整備が難しかった。毎年、同様の要望が強いため、経費の削減を図り、暖房便座のみを各階の洋式トイレに設置した。
・窓際の冷房の風が直接当たって寒い。エアコンが寒かった。		・空調設備改修工事を行い、窓際のエアコン吹き出し口が従来よりも低い位置に設置されたためか、冷房の風が直接あたって寒いとの意見が出てきた。そのため、サーキュレーター設置等の対応をしたが改善せず、吹き出し口にウイングを設置し、改善を図ることとしている。
・老人や心身の弱い人もいるので、「ご意見承り箱」前にイスを置いてもらいたい。		・各階の「ご意見承り箱」(3カ所)の前に、腰掛けて記入ができるよう、簡易な丸イスを配備した。
・県北、県南、別府等、各地域での研修開催を希望するとの意見があった。		・会場や講師の都合等を考えると、各地域での開催は難しい旨、回答している。
・託児できるシステムを考えて欲しい。赤ちゃんがいて研修に参加する苦労は、本当に大変である。		・在宅で育児等を行う人の来庁が多数想定される就職フェアでは、託児を行っている。主に就業者を対象とする研修での託児は、費用対効果等を考慮すると難しい面がある。

7. サービス向上に係る主な取組内容

サービス提供体制の強化	<p>① すべての研修会でアンケート調査を行い、また、各階の来館者の目に付きやすい場所に「ご意見承り箱」を設置するなど、幅広く利用者の声を聞く機会を設けている。利用者の意見・要望は、毎月開催する所内会議で検討し、対応出来るものから速やかに実施するとともに、意見等に対する回答書を作成し、月毎にまとめて、玄関入口の掲示場所に掲示している。</p> <p>② 民間の福祉事業者・事業所の大幅な増加に対応して、従来の社会福祉法人を中心とした文書での研修案内から、きめ細かく各事業所あて直接電子メールでの研修案内を実施し、広く情報提供を行っている。</p> <p>③ 県内各地に出向いて行う「地域介護教室」を豊後大野市など5市(26回)で開催し、なかなか研修センターへ足を運べない地域住民に対して、福祉に関する専門的な知識や技術の普及を図った。</p> <p>④ 高齢者総合相談センター(シルバー110番)について、認知症に関する困難事例等の相談が増加する中で、「認知症の人と家族の会大分県支部」と連携した相談体制の充実に努めたほか、併設する福祉用具展示場に、介護ロボットの体験型常設展示を行うなど最新鋭の福祉用具を展示し、福祉用具の普及啓発に努めた。</p> <p>⑤ 求職者の求職活動の参考資料として、「社会福祉施設ガイドブック」を作成・配布した。</p>
-------------	--

イベント等の充実	① 福祉のしごと就職フェアの開催〔8月9日(日)、2月13日(土)〕 参加者数739名 参加事業所 延べ150事業所 就職決定者数82名
	② 「センターまつり&げんきフェア2015」(県保健医療団体協議会等と共催実施/11月1日):福祉用具アイデア作品展、介護食コンテスト、福祉用具・介護ロボットの体験型展示会、福祉車両展、福祉体験・相談、利用者100万人突破記念コーナー設置等の実施 参加者1,067名
	③ 介護ロボット普及研修フォーラムの開催(2月24日〔水〕) 参加者数89名 紹介器具:メンタルコミットロボットパロ、コミュニケーションロボットパルロ、イーテリアマット、みまもり支援システム、アシストホイール、マッスルスーツ、ロボットスーツHAL 服薬支援ロボ、超低床リクライニングベッド、ベッドサイド水洗トイレ 等

8. 管理に係る収支の状況

(単位:千円)

		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
収入額(A)		216,871	214,656	208,320	210,289
内訳	県からの委託料	150,305	150,305	154,599	153,044
	県からの委託料(別途委託事業)	52,413	40,488	42,094	40,590
	大分市等委託料	484	484	484	484
	資料代	6,456	7,122	7,871	8,781
	その他収入(繰入金)	7,213	16,257	3,272	7,390
支出額(B)		216,871	214,656	208,320	210,289
内訳	人件費	114,920	119,258	108,292	108,993
	維持管理費	30,987	32,155	32,608	32,169
	事業費(指定管理)	27,014	29,274	31,297	32,246
	事業費(別途委託事業)	43,950	33,969	36,123	36,881
収支差額(A-B)		0	0	0	0

9. 施設使用料等の収入状況

利用料金(千円)	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
	平成24年度							
	平成25年度			〔 該当なし 〕				
	平成26年度							
	平成27年度							
	年度	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
	平成24年度							0
	平成25年度							0
	平成26年度							0
	平成27年度							0

10. 指定管理者の管理体制

施設管理体制								
	職員数 (H 27.4.1)	正規職員	パート	嘱託	他社から派遣	臨時職員	その他	合計
	7		13	3	3		26	

11. 適正な管理運営に係る主な取組内容

職員の資質・能力の向上	<p>① OJTにより、職員の接遇向上に努めた。</p> <p>② 研修講師との打合せ会議、研修企画協議など、職員の研修企画力向上に努めた。</p> <p>③ 大学・関係機関等が開催する専門研修へ積極的に参加し、専門知識及びスキルを深めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉人材情報システム研修会(東京都) ・都道府県・指定都市社会福祉研修実施機関職員研修会(神奈川県) ・日本老年泌尿器科学会(浜松市) ・病院・施設での集団感染対策講演会(日田市) ・職業紹介責任者講習会(福岡市) ・福祉人材センター業務・法令研修(福岡市) ・電話相談京都ワークショップ日本電話相談学会(京都市) ・マッチング機能強化研修(東京都) ・社会福祉研修実施機関代表者連絡会議(神奈川県) ・日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会(京都市) ・福祉人材センター・バンク基幹職員会議(東京都) ・日本認知症予防学会学術集会(神戸市) ・東京国際福祉機器展(東京都) ・全国福祉用具相談・研修機関協議会会議(大阪市) ・求人・求職マッチング活動等に関する実践研究会議(那覇市) ・九州ブロック福祉人材センター・社会福祉研修実施機関連絡会議(那覇市) ・九州ブロック介護実習普及センター等代表者及び担当者会議(北九州市) ・社協・社会福祉施設職員会計実務講座(神奈川県) ・認知症キャラバン・メイト養成研修(日田市) ・小規模多機能型事業所連絡会全国大会(松山市) ・介護支援専門員研修テキスト活用方法伝達研修(東京都) ・アメニティーフォーラム第20回記念大会(大津市) ・障害者自立支援機器「シーズ・ニーズマッチング交流会」(東京都) ・修了評価及び実習の受入れに関するガイドライン全国説明会(東京都) ・介護ロボット「重点分野別」講師養成研修会(東京都) ・認知症介護基礎研修・認知症介護実践研修標準カリキュラム等説明会(福岡市)
安全対策等	<p>① 年度当初に、職員研修を開催し、「施設管理マニュアル」・「事故等対応マニュアル」・「新型インフルエンザ対応マニュアル」・「ノロウイルス対応マニュアル」の周知徹底を図るとともに、平常時からの危機管理意識の保持に努めた。</p> <p>② 総合消防訓練(年2回)、救急法(人工呼吸・AED操作)研修会を開催し、緊急の際には、全職員が適切な対応ができる体制とした。</p> <p>③ 危険箇所の早期発見のため、施設や設備等の日常点検を行うとともに、破損や故障箇所等について速やかに修繕を行った。特に実習に使用する備品については、実習前点検も行い、事故の未然防止に努めた。</p> <p>④ エレベーター、自動ドア等の施設設備については、専門業者による定期保守点検を行った。</p> <p>⑤ 危険物の保管箇所については、施錠による厳重な管理を行った。</p> <p>⑥ 防犯・環境美化のため、日常的な館内の見回りを行った。</p>